

Photo Gallery

来光川で水生生物観察会 きれいな川にしかない生物を採取



▲川にいる水生生物を採取する児童ら

7月27日、上沢の観音橋付近の来光川中流域で水生生物観察会が行われました。

同観察会には、小学4年生～6年生33人が参加し、身近な川の水質を確認し、石の裏などにいる生き物を捕まえて観察しました。

参加した児童たちは、川に膝まで浸かり、石をひっくり返したり、網の上で石をこすったりして生物を採集しました。約30分できれいな川にしか生息できないヒラタカゲロウやカワゲラを採取し、参加した児童は「見たことない生物がいて勉強になった。楽しかった」と感想を話してくれました。

函南の2チームと交流 熊本の児童とサッカー



▲親善試合で競り合う児童たち

7月30日、熊本地震で被災した熊本県宇土市・美里町のサッカー少年約40人が函南町を訪れ、函南町のサッカースポーツ少年団2チームと肥田簡易グラウンドなどで交流を行いました。

被災地のサッカー少年に夏休みの思い出をつくってもらおうと、県内の有志でつくる「熊本の子どもたちの夢をサッカーでつなぐ会」が企画し、県内各所で交流会が開かれ、同日は熊本の児童と函南の児童と混合になって8人制のミニゲームを行ったり、ドリブルのスピードを競ったりして親睦を深めました。

参加した熊本の児童は、「今度は熊本と一緒にサッカーしたい」と話してくれました。

堀慶一朗さん（柏谷） 甲子園での活躍誓う



▲愛用のバッティンググローブを受け取る堀選手

7月30日、常葉菊川高校野球部3年生で函南東中出身の堀慶一朗さん（柏谷）が第98回全国高校野球選手権に出場することを森町長に報告しました。

堀さんは小学校時代は函南少年野球クラブ、中学校時代は三島リトルシニアでプレー。県大会では、2本の本塁打を放つなど力強い打撃と大会を通じて無失策の堅守でチームを盛り立てました。

堀さんは「自分は脇役。甲子園でも無失策を目指して、チームに流れを持ってこれるプレーをしたい」と謙遜しながら甲子園での抱負を話してくれました。

函南町文化協会

団体・活動紹介

間宮パソコン教室

江成 正一

間宮パソコン教室は平成17年度に発足し、間宮公民館を拠点に活動しています。

現在28人と多く、毎週月曜日と水曜日の午前と午後の四部制としています。

コンセプトは1教室8人の構成とし、基礎から上級まで一貫して学習することにあります。

また、全機種対応で学習資料を配布しているため、自宅に帰っても復習できるようにしています。

パソコンでインターネットとメールだけをやっている人が多々見受けられますが、これだけだとパソコンの能力の5%位しか使っていません。ワード、エクセルはもとより音楽CD作成、写真加工、デジ

タルカメラ写真のDVDムービー作成など、幅広く活動しています。

趣味で写真日誌をつけるもよし、自宅の園芸管理表を作成してもよいと思います。

パソコンを我流で勉強してもいざとなるとできないことがあります。基礎を身に付けて、肝心な時に役立つようにしたいものです。脳の活性化にもなりますので、一緒にワイワイ勉強しませんか。



問合せ先／江成正一（978-7591）

文芸散歩

黙禱に遠のいてゆく蝉の声
山門はいつも開かれ蝉しぐれ
白雲のことさらまぶし終戦日
墓参終へ故里の海しみじみと
心配も怒りに変はる残暑かな
棚経の僧の頂のすつきりと
乗り合はす人も供花抱き朝涼し
湯上りの石鹼にほう終戦日
夏雲の連山に影張ることし
かなかなや玉砂利に艶戻りけり
水撒きて物音ひとつせぬ小路
蝉声にせかされてある朝餉かな
夜のふけて軒に射し入る月涼し
かくれんぼ声の消えゆく木下闇
風鈴の音に流れゆく雲一片
帰省子は誰かれとなく会釈せる
ゆつくりと出る客船や涼新た
箱根より風のありけり少し秋

奥名春江
森田節子
井出悦子
小杉昌子
早川典子
山田静子
大村百合子
杉原文枝
大山章子
犬飼陽子
勝山智恵子
藤元美根子
立林勝子
安本賀津子
平子かおる
及川光代
中村フサ子
飯田由紀子

〈風の会〉